

新宮山彦ぐるーぷ第1833回ー1  
**持経宿・お堂軒天井張りとおピケ足場解体運搬及び平治宿巡回**

◇実施日：平成27年08月08日(水) 晴時々曇一時小雨  
 ◇参加者：児嶋道夫、川島 功、梶野照雄。

村吉光夫、高木妙子。(平治宿巡回) 計5名

木下棟梁は、前鬼・小仲坊のお堂修復工事を請負われる事になり、お堂(不動堂)のピケ足場解体返却の要請があり、急遽、お堂屋根の軒天井を張りピケ足場を返却する事になった。

軒天井材料の石膏ボード5枚は、棟梁に調達して頂き、児嶋車(1屯トラック)に積込み持経宿に9時過ぎに到着し、大工工具類を準備していると梶野氏が到着。

ピケ足場が組立てられた裏軒天井から張ることにする。鼻隠しに隠れる様にするため胴縁を打付ける。

軒先の寸法を計測すると、歪がありトタン端から1.8mで約1cm異なり、計測より少し長めに切り鉋で削り修正してはめ込む。上向きにステン釘を打つので非常に打ちにくい。張る箇所毎に現物併せの為、児嶋さんが石膏ボードを鋸で切り、川島・梶野が釘を打っていくが手間と時間がかかる。



計測寸法に石膏はボード切る

「持経宿」樺板寄贈者

前側は、現状のベニヤ板天井の傷みも少なく、その上に石膏ボード天井を張るが、鼻隠し側に胴縁が無く釘の効きが悪い。10時半過ぎに村吉さんが、「持経宿」表札看板の樺板を寄贈して下さった高木さんと来宿。第1回刈峰行標識地点に案内とのことで平治宿に行かれる。

リブ波トタンは、リブ突起があり、またベニヤ板を剥ぐつた箇所はベニヤ板厚みの隙間が空き、目隠しに化粧材を打付ける。休憩無しで12時過ぎに軒天井張りを終え、昼食とする。

昼食後、残材を児嶋車に積込み、三叉路の廃材置場に運搬する。仮薪置場の薪も運ぶ予定であったが、バラバラのため縛る必要があり、児嶋さんの単管パイプ返却は次回にする旨の了解を得る。

小仲坊へは、棟梁が先行し、15時半頃にピケ足場を運搬する事になっており、ピケ足場を解体し児嶋車に積込む。積込みを終え休憩。程なく、村吉さん達が平治宿巡回から戻られる。水場の底浚え、室内清掃と時計が止まっていたので修理に下ろすとの事。ご苦労さんでした。

本日作業者の写真を撮り、小仲坊への運搬約束の刻限もあり、ピケ足場を積込んだ児嶋車(助手席川島は、先に下山する。



軒天井張りを終えたお堂(不動堂)

本日の作業者

下山する頃から夕立の来る気配で暗くなるも一時ぱらついた程度で済んだ。

15時40分に小仲坊着くと、木下棟梁は、軽トラで運んだピケ足場を荷降ろし中であり、一緒にピケ足場を降ろす。

五鬼助夫妻に持経宿改築の浄財・寄付のお礼を述べると共に、小仲坊と個人・五鬼助さんのご芳名簿にした旨を伝える。

帰路先行した棟梁車が、前鬼口バス停約1km手前で停車している。小熊が道を横切り、カメラに撮ろうとしているとの事、結局逃げて見つけられなかった。

児嶋氏には、先般の薪小屋、本日の軒天井張り作業を仕切って下さり、本当に助かりました。とりわけ、商売を疎かにして度々参加して下さり、児嶋車(1屯トラック)のお陰で持経宿改築が支障なく進行出来たと言っても過言ではないと感謝している。

### 行動タイム

新宮 7:00→9:10 持経宿→お堂軒天井張り 12:10→12:15 昼食  
12:45→廃材運搬(三叉路)13:15→ピケ足場解体・積込み 13:50→休憩  
持経宿 14:25→15:00 池原→15:40 前鬼・小仲坊 16:10→18:00  
新宮。  
(記 川島)